



助役・収入役が空席の総社市

## 中村吉男

助役・収入役不在について

**問** 新総社市の誕生に伴い、あらゆる事柄に対処していく大切な時期に、他市よりも強固な総社市に取り組み第一歩で早期に体制を整えるべきと考える。

**答** 市長は助役・収入役は、市の財政が好転するまでは当分の間置かないと表明しているが、いずれの時点で好転すると考えているのか。それで、市民のための市政が円滑に運営できるのか。

**問** 厳しい財政の中、合併に伴う大型の特例債事業が多く計画されているが、今後、大型・特例債事業と通常事業をどのように取り組まれ進められるお考えか。また、合併特例債を使う事業は、執行部と議会で事業、財政等を調査研究するため特別委員会等を設置し、特に研究する必要が有ると考えるがどうか。

**答** 合併特例債は、十年と限られているので市民ニーズの強い必要不可欠な事業に有効活用し、財政負担を最小限に留め使用したい。大型、通常事業は、慎重にかつ細心にして大胆に判断し十分検討し進めたい。特別委員会の設置は、見解

果そのものが、一定の効果として見えてくることも必要な条件で、隗より始めよと、そういう考え方で改革を進めたい。収入役不在は、職務代理者を置き、支障は出ていないのでご安心いただきたい。

## 合併に伴う大型・通常事業について

## 剣持守

合併に伴う重要な問題点について

の相違があるようで、即ち費用対効果を正確に検証し慎重に検討してから、議会へ提案しているのでご理解を賜りたい。

**問** 新設対等合併とはいえ、議員報酬、議員の任期の延長など協議の主要問題が、旧総社市の主導で進められたことは、合併協議会の経過を見れば明らかである。合併協議が基本的に整い、審議され、各々の議会で議決された結果が合併に至る経緯だと思っ

**問** 新設対等合併とはいえ、議員報酬、議員の任期の延長など協議の主要問題が、旧総社市の主導で進められたことは、合併協議会の経過を見れば明らかである。合併協議が基本的に整い、審議され、各々の議会で議決された結果が合併に至る経緯だと思っ

## 江口 實

指名業者の選定について

**問** 旧山手村、旧清音村では、村外例えば倉敷市、真備町の業者は指名業者に入っているが、総社市の業

また、国体の時期に解散が起きることに、当局はどう思っているのか。

**答** 合併に至る経緯については、事務調整は部会

首長会で、小委員会での対応や議会特別委員会での審議あるいは合併協議会での協議を行い、手続きを進め、住民アンケート、広報紙による情報周知を行い、合併が成立し、新市がスタートした。新市をいい町につくり上げるよう努力したいが、解散となった場合、正確には選挙経費五千万円、その準備経費二千五百万円、住民投票二千五百万円で総経費約一億円かかると考えている。総社国体をいい思い出にして帰っていただきたいので、できるだけ支障のないようお願いします。